

製品名: 嗅覚受容体 2J3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15195**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	OR2J3
別名	OR2J3; Olfactory receptor 2J3; Hs6M1-3; Olfactory receptor OR6-16; OR6-6; Olfactory receptor 6-6
遺伝子 ID	442186.0
SwissProt ID	O76001
免疫原	抗血清はヒト OR2J3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 262-311

背景

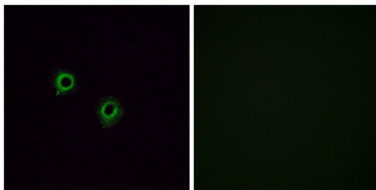
嗅覚受容体ファミリー 2 サブファミリー J メンバー 3 (OR2J3) ホモサピエンス この遺伝子は、嗅覚受容体として機能する G タンパ

ク質共役受容体 (GPCR) をコードしています。嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を誘発する神経応答を引き起こします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、刈り取られた草などの傷ついた植物から放出されるシス-3-ヘキセン-1-オールに反応します。この遺伝子は、6番染色体上の類似の嗅覚受容体コード遺伝子群に位置しています。[RefSeq 提供、2013年5月]機能: 嗅覚受容体,類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、

研究分野

嗅覚伝達;

画像データ



OR2J3 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。